

箕輪町郷土博物館だより

令和8年 冬号

箕輪の年中行事を紹介

【十二がき】

昔、1月14日小正月の夜や節分の夜に、木を2つに割った面に墨で線を書いて、入り口の両側に立てかけておくと鬼を追い払えるという「十二がき」という行事を行っていました。引く線の数や理由はそれぞれの家庭で違っていたようですが、「鬼が線を数えているうちに夜が明けてしまうと言われた」とか、「線を11本にしておくと一年の月数である12本に足りないと悩んでいるうちに夜が明ける」など様々な理由で鬼を追い払うようにしていたようです。



みのわを知ろう！

ひなう 雛売り



大正中頃まで2月の中旬頃になると、押雛売りが松本方面から両肩に籠を担いでユサユサしながら「雛や雛、雛にひな菓子」と通る声で町の中を売り歩いていました。すると女性達が家から飛び出してきて品定めすると天神様、弁慶、牛若丸、坂田の金時、恵比寿大黒、加藤清正の虎退治など、3月3日のお祝いに買うのに迷うほどでした。中には内裏人形雛もありましたが、なかなか庶民には手も足も出ないほど高級なものもありました。

小川守人著『箕輪の磊々』より

ふるたにんぎょうあやつ 古田人形操い体験会

● 開催日 令和7年2月15日(日)

● 会場 箕輪町郷土博物館 図書講座室

● 開催時間 午前10時～12時
午後 1時～ 3時

★見るだけ、ふれるだけでもOKです。
お気軽にお越し下さい

● 講師 古田人形芝居保存会の皆さん

● 入館料 無料

○開催内容



「古田人形芝居」は無形民俗文化財に指定されている
町を代表する伝統芸能です。

人形芝居の人形を実際にまじかで見ることが出来、人形
の手足を動かしたり、触れたりすることができます。
この機会にぜひ人形に会いにお越しください。

ふゆ はる はくぶつかんじぎょう し 冬～春の博物館事業お知らせ

★美術展示室は 3月8日まで

「秋から冬の絵画」を

展示しています。



★3月10日からは「春を描く」と題して

絵画を展示します。



★2月28日から

民俗展示室でおひなさまを展示します。



??? 箕輪学クイズに挑戦 ???

(1) 2026年は馬年です。

昔、馬のひづめを守るためにかせていました。履物は何だったでしょうか？



① ぞうり

② ながぐつ

③ わらじ

(2) 2026年1月1日現在の箕輪町の人口は何人？

① 24,194人

② 25,194人

③ 26,194人



(3) 箕輪の方言で「そーだに」の使い方は？

① そうですよ。

② それはちがうよ。

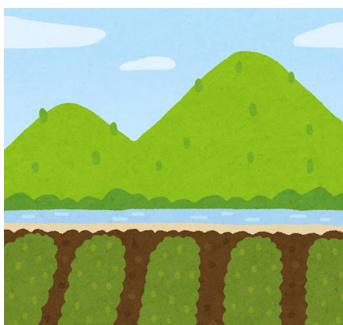
③ ソーダ2個ください。



○ こたえ ○

(1) ③ 馬の蹄や足の裏を守るためにわらじを履いていました。

その後ていてつをつけて守るようになりました。



2) ① 箕輪町は長野県の町の中で最も人口が多い町です。

みなみ 南アルプスと中央アルプスに抱かれた自然に恵まれた
町です。

(3) ① この店であってる? → そーだに。 (そうですよ) まちがいないよ。

つかってみてね。



お問い合わせは、博物館まで

TEL 79-4860

発行元：箕輪町郷土博物館